



2017年12月6日
株式会社 リクルート ライフスタイル

旅行業界における2018年のトレンドを発表 キーワードは「へるしい旅」

世の中の健康志向の高まりを受けて旅のスタイルが変化
旅先で「へるしい」になる「旅行×健康」が兆しに

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が運営する旅行情報サービス『じゃらん』では、2018年の旅行業界におけるトレンドをキーワードとともに予測し、発表いたします。詳細はこちらよりご覧ください。
https://www.recruit-lifestyle.co.jp/uploads/2017/12/RecruitLifestyle_jalan_20171206.pdf

【2018年のトレンド予測キーワード】

おいしい、たのしい、へるしい
へるしい旅

【概要】

「健康立国」を標榜した日本。「人生100年時代構想」の発表や「スーパーフード」「クロスフィット」の流行を背景に世の中の健康志向が高まり、それは旅のスタイルにも変化を及ぼしています。旅行の目的は「疲れを癒すこと」から「旅先で健康になること」へと変わり、旅行者が自ら「へるしい」になるための滞在へと変化しつつあります。観光地は、健康地へ。観光客は、健康客へ。今、「へるしい旅」の流れがきています。

【背景】

◎世の中の関心事は、健康と旅行。健康で長生きするために時間とお金を投資する人が多く存在する

- ・以前よりも興味関心が高まっていることは、1位「健康」62.8%、2位「旅行」61.8%、3位「食事」59.5%
- ・健康のために日頃から意識している人は85.7%
- ・自分の健康のために時間やお金を投資したいと思っている人は62.2%
- ・健康に対する1カ月の平均投資額は3,541円、今後投資しても良いと思う金額は、855円増の4,396円

◎政府としても、「旅行×健康」への取り組みが活性化

- ・経済産業省は、2017年4月に発表した「アクションプラン2017」の中で「観光・旅行×健康」による新たなヘルスケア産業の創出について言及し、ヘルスツーリズム認証制度が2018年から施行予定
- ・環境省が、7月に「新・湯治 ONSEN stay」の推進について発表

◎「へるしい旅」に興味関心を持っている人は7割以上

「へるしい旅」の一例



現代湯治

短い滞在で心身を回復させる入浴プログラムなど *1



食

マクロビ・地産地消・ヴィーガンなど *2



スポーツ

ウォーキング・ヨガ・サイクリングなど *3

出典) *1) 画像提供：星野リゾート 界、*2) 画像提供：湯河原リトリート ご縁の杜、*3) 画像提供：ヘルスリゾート 天空の庭 天馬夢

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>